



喜小だより

令和3年10月8日発行 発行者 齋藤孝之



自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

コロナ禍の通常授業

校庭の西側のイチヨウの木に、たくさんの銀杏がたわわに実っています。黄緑色の葉の中に、黄色の実が鈴なりについている様子は、実りの秋を感じさせます。

さて、栃木県に発令されていた新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が、ようやく解除されました。思えば、夏休み終盤から約1ヶ月半という長い期間でありました。学校では、臨時の日課を続けてきましたが、子どもたちはその状況をよく理解し、しっかり日課や生活スタイルを守り、学習との両立を図ってきました。子どもたちの頑張り、そしてそれを支えてくださった保護者の皆様方の頑張り感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今後は、学習活動を緊急事態宣言前の状況に段階的に戻していきます。早速、今週からは、清掃活動（自教室中心）と歯磨き（ぶくぶくうがい）以外、夏休み前の通常授業に戻しました。2学期からは、清掃・歯磨きを通常に戻すとともに、延期していた校外学習を実施したり、学校支援ボランティアの皆様のご協力をいただいたりする予定です。ただ、新型コロナウイルス感染症がなくなった訳ではありません。まだまだ予断を許せない状況には変わりありません。コロナ禍でこれまで培った生活様式を堅持しつつ、よりよい学習活動が展開できるように、教職員一同が一丸となって学校運営を進めていきたいと思っております。



タブレットの活用方法が進化しています！

授業には1時間ごとに「ねらい」があり、そのねらいに応じた学習活動を行っています。タブレットは、あくまでも授業のねらいに迫るために活用するアイテムの一つです。最近も、タブレットを使って、効率的に授業を行っている様子がいろいろな教科で見られます。そのいくつかを紹介します。

体育です。鉄棒の演技を録画してもらい、すぐに再生して、演技のポイントができているか確認しています。



音楽です。教師があらかじめ録画しておいた師範の演奏を見ながら、リコーダー練習をしています。指の運びや音の響きを確認しています。



総合的な学習の時間です。本来であれば、下級生に向けてまとめたことを発表会を行います。コロナ禍で一カ所に集まれません。そこで、発表を録画して下級生に届ける方式に変更しました。



図画工作の時間です。左の写真は、走っている人の画像を見てスケッチをしています。画像は拡大できるので、理科や生活科の観察でも細かなところまでスケッチできます。

右の写真は、鑑賞の時間に友だちの作品を見ての感想を書き込んでいるところです。学習支援ソフトを使っているので、作品も感想も共有して見て確認することができます。



「道徳」の授業の充実

今年度「人権教育」に関する研究校になっております。本校では、人の人権を尊重する実践力を養うことが重要だと考え、昨年度から道徳の授業の充実に努めてまいりました。白鷗大学の中山和彦先生を講師に迎えて「道徳」の授業に関する研修を繰り返してきており、先生方の授業力が向上するとともに、子どもたちの物事の本質を考えようとする心や、よいことを実践しようとする力や意欲が高まってきています。



秋の交通安全県民総ぐるみ運動

秋の交通安全運動に合わせて、本校でも街頭指導を実施しました。横断歩道の渡り方も、安全で上手な渡り方になってきました。



運動会の練習

運動会練習が始まりました。授業の様子とともに、練習の様子をHPに載せていきたいと思えます。



喜連川小学校の
ホームページです。
ぜひご覧ください。



お知らせ

ホームページのトップページを少しリニューアルしました。ついでに、学校だより（カラー）をホームページから見るができるようにしました。これまでどおり、ご家庭には白黒で印刷した学校だよりを配付させていただきますので、カラーでご覧になりたい保護者の皆様は、ホームページからダウンロードをしていただければ幸いです。

なお、保護者の皆様に少しでも子どもたちの様子をお伝えできるよう、ホームページの記事の更新を行っております。時々、のぞいていただけるとうれしいです。